



2026年2月3日

日本鉄道労働組合連合会

J R 西労組第44回中央委員会

「ベースアップ 16,000 円」「年間臨給 5.7 カ月」等を求める
2026春季生活闘争方針と当面の活動方針を決定！

J R 西労組は1月 29 日、大阪市内で第 44 回中央委員会を開催し、2026 春季生活闘争方針をはじめとする当面の活動方針を満場一致で決定した。

執行部を代表して挨拶に立った羽野敦之中央執行委員長（J R 連合副会長）は、「安全確立」「2026 春季生活闘争」「魅力ある J R 西日本グループに向けて」「衆院選」の主要課題 4 点について所信を表明。「福知山線列車事故から 21 年。ABC 運動の更なる浸透に取り組もう」と訴えるとともに、「2026 春季生活闘争は、物価高、生活改善、他産業との格差是正のためにはベースアップが必要。J R 連合傘下の最大単組として今春闘を牽引すべく取り組む」と決意を述べ、建設的で将来に繋がる討議を要請した。



羽野中央執行委員長



JR 連合今井事務局長

J R 連合から参加した今井事務局長は、「安全確立」「2026 春季生活闘争」「組織課題」「政治・政策」の取り組みについて言及。「2026 春季生活闘争を通じて労働組合の意義を認識させ、組織の拡大・強化を図ることが肝要。ONE TEAM で春闘勝利を掴もう」と呼びかけた。

議事では、執行部から「年度初における基準昇給の完全実施」「ベースアップ 16,000 円」「年間臨給 5.7 カ月」などを柱とした 2026 春季生活闘争方針をはじめとする当面の活動方針（案）が提起され、14 名の中央委員が発言し、活動方針を補強した。

その後、執行部からの中間答弁、川端準一書記長（J R 連合執行委員）の総括答弁を経て、全ての議案が満場一致で採択された。

J R 連合は、加盟単組とともに「ONE TEAM で今年も賃上げ！」の実現に向けて取り組んでいく。

